

「折田先生像」の撤去について

【ご質問】（投稿日：2019年2月28日）

例年、学部入試の際大学構内にいわゆる「折田先生像」が建てられており、毎年複数のメディアが取り上げるなどして京大入試の風物詩として定着しているといっても過言ではないと思われます。さらに言えば、自由を感じさせる京大らしいイメージを形作っているという評価もかなり多いと思われます。

これまでの大学側の対応も、京都大学高等教育研究開発推進機構がホームページにて「吉田南構内の風物詩の一つとして一定の期間状況を見守っています。」と黙認の姿勢を見せていました。

しかし、今年度の「折田先生像」は入試初日の午後の試験中に大学職員によって撤去されました。少なからぬ人が京大らしいイメージが損なわれてしまうと大変危惧しています。

そこで以下の質問のお答えください。

- ①今までの姿勢を変えて「折田先生像」をすぐに撤去したのはなぜか。
- ②例年「折田先生像」が置かれる場所の前に受験生向けの立て看を2枚設置したのは「折田先生像」を置かせないためか。
- ③「折田先生像」さえ撤去されると京大の自由なイメージが損なわれていく恐れがあると考えている人が少なくないが、それについてどのように考えているか。

【回答】（回答日：2019年3月11日）

（教育推進・学生支援部）

下記のとおりご質問に回答します。

①③当該工作物については、本学の敷地内に許可なく設置されており、当該工作物に便乗し、一部の学生等により平穏な受験環境を阻害する行為があったため、早急に撤去する必要があると判断いたしました。

②円滑な入学試験の実施のため、受験生にとって分かりやすい場所に案内看板を設置しており、質問にあるような意図はありません。